

SM大陸／マンダラ (1981)

MONDO SHOCK
SHOCKING ASIA

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー モンド

製作国 西ドイツ／香港

時間 91分

初公開日 1982/07

公開情報 松竹=富士

【解説】

ドイツ人スタッフが、アジア各地に取材した残酷ドキュメンタリー。インドの寺院にあるセックスのさまざまな体位を描いた彫刻、ガンジス川の水浴と水葬、クアラルンプールのヒンズー教徒の祭で修行僧に針を突き刺す場面などを収録。ハイライトシーンは二十八歳の男が性転換手術を受けるシーンとなっているが、全体的にもう十分見尽くしたような映像ばかり。

ゲテモノ料理の店で日本も登場するが、牛の内臓や性器などを出す単なるホルモン料理の店で、しかも、のれんに「ゲテモノ」と書いてあったりするというじつにつくりものっぽい映像。しかも、その店の板前が日の丸マークの鉢巻きをしているという、臭い演出まである。ナレーションは何かというと「アジア人は我々とはこんなにも違う……」と言った調子でアジアを一まとめで奇抜な印象にしようという、どう考えても無理な文化論を展開。オープニングのナレーションでは「アジアは我々にとっては神秘的で美しくもあるが、25億の民にとっては地獄である」ときて、もう無茶苦茶。また、中国風だかインド風だかよくわからないアジアンミックスなテーマ曲にはお約束の銅鑼が使われ、オープニングでタイトルが出ると「ジャーン」と鳴る。

【クレジット】

監督	エマーソン・フォックス	Emerson Fox
製作	ウォルフガング・フォン・シュイバー	Wolfgang von Schiber
脚本	エマーソン・フォックス	Emerson Fox
撮影	フランツ・ザヴァー・レダール	Franz Xaver Lederle
編集	プッパ・ワルター	Puppa Walter
音楽	エルウィン・ハレット	Erwin Halletz